

## 身入りの向上によるブランドアサリ創出のための垂下式養殖技術の開発

(予算区分 県単独 研究期間 平成27～29年度)

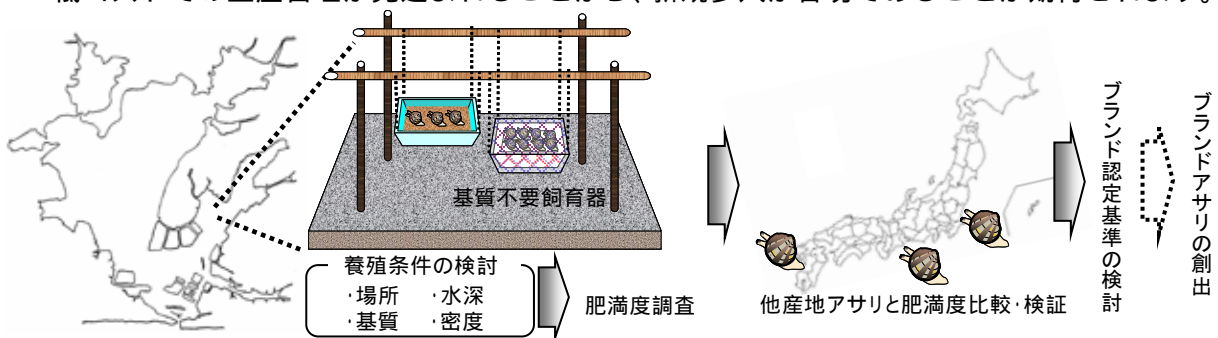
担当：水産技術研究所浜名湖分場 上原 陽平

### 【研究の背景とねらい】

- ・ 浜名湖のアサリ漁業は重要な地域産業となっていますが、漁獲量は平成25年に過去最低を記録するなど、近年不安定な状況にあり、収入の安定確保に対する漁業者の思いは極めて強くなっています。このため、水揚げの安定維持を目的に、操業制限などの取組が行われていますが、取引価格の向上に関しては、具体的な取組はこれまで行われていません。
- ・ アサリの価格決定には、サイズ(殻長)と身入り(肥満度)が重要であり、高価格での取引が見込める“身痩せの時に、身入りの良いアサリ”の確保に対する漁業関係者の期待は大きいものとなっています。
- ・ 垂下式養殖は、これまで、漁業が生産形態の中心であったアサリにおいて、新たな産業として注目を集めています。また、垂下式養殖は、餌代が不要であり、身入りが良くなること等のメリットが指摘されていますが、その一方で、飼育器が重いため作業負担が大きいことや、導入地先の環境特性に応じた垂下手法の検討が課題となっています。
- ・ 本研究では、身痩せの時に合わせて短期的に身入りを向上させる垂下養殖技術の開発と、高価格での取引が見込めるブランドアサリの創出を目指します。
- ・ 養殖条件の検討として、浜名湖の複数地点で、飼育器の基質や設置水深、アサリの収容密度などの条件を変えて垂下試験を行います。また、試験員と同サイズのアサリと他産地の天然貝の肥満度を比較することによって、垂下式養殖の効果を検証し、更に、作業負担を軽減するために基質不要の飼育器の開発を行います。
- ・ 市場別の取引価格の情報整理や、試験員の食味などのアンケート調査を実施し、ブランド化に向けた認定基準などを検討します。

### 【期待される効果】

- ・ 大型かつ身入りが向上したアサリを、特に身痩せが生じる時にマーケットに供給することが可能であれば、より高価格での取引が見込め、漁業者の収入の増加が期待されます。
- ・ 低コストでの生産管理が見込まれることから、新規参入が容易であることが期待されます。



### 【年次計画】

研究項目	検討内容	H27	H28	H29
1 養殖条件の検討	養殖試験(餌環境条件、収容条件等の検討) 基質不要の飼育器の開発			
2 身入りの評価	天然貝及び試験員の肥満度調査 他産地のアサリの肥満度調査			
3 ブランド認定基準の検討	市場別取引価格の調査 試験員の食味などアンケート調査			

(作成 平成27年4月)

( 試験研究課題年次別解説集様式 1 号：新規課題用 )